

コロナ禍だから、見直したい業務改善の 3つのポイント



株式会社 協和エクシオ

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号

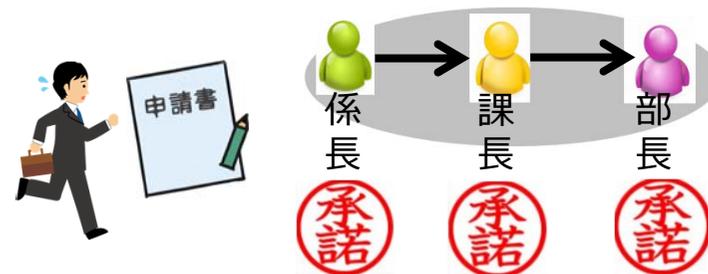
TEL : 03-5778-1111(代)

www.exeo.co.jp

よくある課題

● ペーパーレス

何をするにも紙とハンコ。
出社しないと業務が止まる。



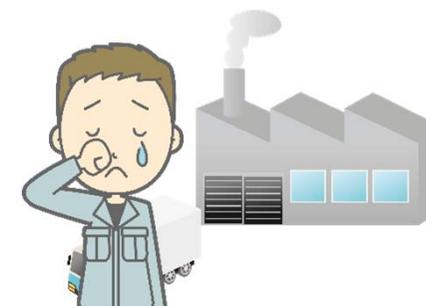
● 複数部門に跨る業務（部門間の壁）

上司を通してくれ、作業の押し付け合い、
責任転嫁などで業務がうまく回らない。



● リモートワークの推進

生産部門なので、リモートワーク
なんてできない。



解決するためには、どう進めればよいか？

● 業務の見える化

現状業務の見える化によって、今までに見えなかったムリ・ムラ・ムダなどの問題が見えてきます。

● 改善目標を決める

見える化で出た問題や課題に対し、解決すべき優先順位とその先のゴールを決める。 コスト・時間・品質の観点

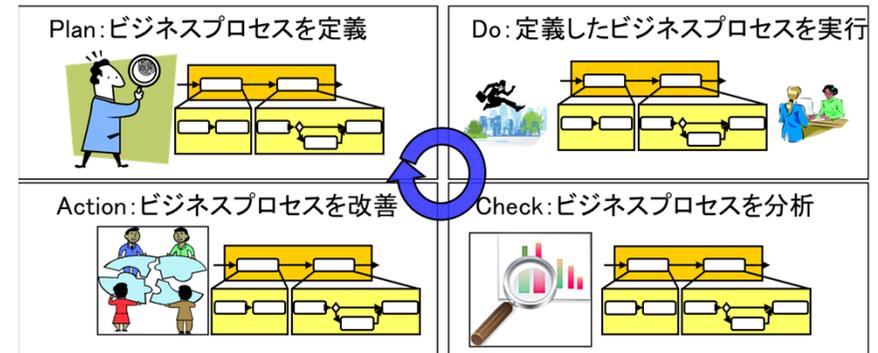
● 改善効果のシミュレーション

あるべき姿（改善案）を検証し、段階的に改善を進めていく。

ビジネスプロセスマネジメント（BPM）とは

業務の見える化とビジネス・プロセス・マネージメント（BPM）

- ◆ BPMとは、ビジネスプロセスを可視化し、PDCAサイクルを回しながら継続的に業務改善を実施する手法です。
- ◆ BPMS(Business Process Management System)を活用することで、継続的業務改善とペーパーレス化、業務の進捗管理、パフォーマンス管理が実現できます。
- ◆ 協和エクシオが推進するBPM手法は、トヨタの生産プロセスの継続的改善に使われたリーンという手法を業務プロセスに適用したものです。



見えない物は管理できない。測れないものは改善できない。

業務改善のための3つのステップ



現状 (AsIs) プロセスの見える化

1. ビジネスプロセスの見える化と課題のヒアリング

※ビジネスゴールを決定後、コスト、スピード、品質の観点でKPIを決める

課題の共有

1. ビジネスプロセスの課題点から分析方針を決定
2. 分析方針からヒアリング、モデリングの詳細化
3. ビジネスプロセスを定量化して客観的に分析

例:手作業による無駄25%、手戻りによる無駄15%

改善 (ToBe) 案 策定

1. 課題を改善するための改善プロセス案策定
2. 改善プロセス案の効果をシミュレーション

お客様の声：導入事例



業界・業種： 製造業A社

業務内容： 検査機器の製造・販売メーカー

改善業務： 保守サービス業務（例：見積書作成業務）

導入前の課題

- ・ 作成資料が多く、重複項目も多い。
- ・ 複雑な承認ルールの確認に時間を要していた。
- ・ 見積書の履歴管理が担当者任せで煩雑

導入後の効果

- ・ BPMSを導入し業務プロセスを管理
- ・ CRMからの連携データを元に見積書の自動作成
- ・ BRMSで承認ルールを定義、BRMSと連携し、承認ルールの自動設定
- ・ 見積書はシステムで履歴管理、検索可

コスト：66%、所要時間：63%の削減
さらに、担当者の作業品質も向上



「コロナ時代の業務プロセス改善」ウェビナーを開催します。



開催日時	こちらをクリックしてご確認ください
定員	100名様
参加費	無料
会場	Web上でのオンラインセミナーとなります ウェビナーシステム「Zoom」 または「Teams」を使用します
主催	株式会社協和エクシオ 株式会社サン・プランニング・システムズ

● 講演内容

DX、業務改善を効果的に行う手法について、3つのステップ（ASISプロセスの見える化、課題共有、改善案の策定）とアプローチについて、取組事例を交えながらご説明します。



みんなを「つなぐ」と
未来はもっと明るく楽しい

